

「つなぐ」意識で記録達成

鹿商・野方 サイクルヒット!

又六冊

号外

| | | | | |
|------|------------|------|-----|------|
| 枕崎 | 4回戦 (県立鴨池) | 1000 | 201 | 0011 |
| 鹿児島商 | | 001 | 210 | 1611 |



第122回九州地区高校野球大会鹿児島県予選第11日は4月4日、鹿児島市の県立鴨池、鴨池市民の両球場で4回戦4試合があった。鹿児島商は終盤、野方勇大主将のサイクルヒットなどで打線がつながりフルト勝ちした。

政純一郎

「お前は野方なんだ」床次監督

第1打席 右前ヒット、第3打席 右中間三塁打、第4打席 中越え本塁打、第5打席 中越え二塁打。鹿児島商の三番 野方勇大主将のサイクルヒットは、劣勢の展開を跳ね返し、チームに勢いをもたらした。

先制され、中盤までは相手ペースで進む苦しい展開だった。五回、先頭の野方の右中間三塁打を皮切りに初めて勝ち越す。七回裏は「変化球をよく引きつけられた」振り子が、大きな放物線を描いてバックスクリーンに飛び込んだ。無死満塁で迎えた第5打席は「みんながつないでくれたチャンス。ここで打てたら自信になる」と振り抜いた一撃は滞空時間の長い中堅手

の頭上を越える二塁打となり、そのまま勢いに乗ってフルト勝ちにつながった。

頭にあったのは常に「つなぐ」意識だった。打線のキーマンである以上、他のチームからマークされることは分かっていた。「内角を厳しく攻められるぞ」と監督さんからも言われていた。内からしっかりとさばくことを練習からやっていた。調子も良かった。後ろにつなぐ気持ちで打席に立っている(野方)。第1試合で、同じ捕手の神村学園 鶴田が3ランサヨナラ弾と派手な当たりをかっ飛ばしていた。試合前、ベンチに向かう通路で床次隆志監督が「お前は野方なんだぞ。鶴田じゃないんだぞ」と声を掛けると、「可笑しかった。自分の役目をしっかりと果たして、サイクルという「褒美」がついてきた。

